

四つのテスト—言行はこれに照らしてから—

- ① 真実かどうか ③ 好意と友情を深めるか
- ② みんなに公平か ④ みんなのためになるかどうか

熊本南ロータリークラブ



週報

R I テーマ
心の中を見つめよう 博愛を拡げるために
 Reach Within to Embrace Humanity

2011-2012 度 国際ロータリー会長
 カルヤン・バネルジー(インド)

例会日: 毎週月曜日 12:30~13:30 例会場: 〒860-8536 熊本市上通町2-1 ホテル日航熊本内
 創立日: 昭和33年9月1日(承認 昭和33年11月24日) 事務局: 〒860-8536 熊本市上通町2-1 ホテル日航熊本内
 TEL: 096-211-2720 FAX: 096-211-2721 E-mail: minamirc@mail.sysken.or.jp

国際ロータリー第2720地区
 会長/堀川貴史 幹事/野口泰則
 クラブ広報委員長/馬場大介

2011-2012RIテーマ



第11回 例会記録(通算第2496回)
 平成23(2011)年10月3日

今日の例会

1. 今日の歌
2. 来訪者紹介
3. 会長・幹事・各委員会報告
4. ガバナーアドレス

今月・来月の行事

- 10/17(月)18:30~会員維持増強・出席・親睦活動合同 IM@那由多
- 10/24(月)18:30~理事・役員懇談会@ひろのすけ
- 10/26(水)14:30~市域 RC 会長幹事会@キャスル
- 10/26(水)18:30~GSE 交流会@那由多

斉唱 国歌 君が代
 ロータリーソング 「我らの生業」

会長報告 (堀川貴史君)

前回は、夜間例会で観月会を開催いたしました。ご出席いただきました会員の皆様、ありがとうございました。また、お世話をいただいた親睦活動委員会の皆様、大変ありがとうございました。重ねて夜の例会には、あまり参加出来ないという会員の皆様方には、無理やりに例会変更を押し付けまして、大変失礼を致しました。

今月は、職業奉仕月間、米山月間となっております。双方に理解を深める機会になれば幸いに存じます。両委員会の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

また、10月17日(月)はガバナー公式訪問となっております。当日は、11時より、私と野口幹事は、ガバナーとの懇談会にて、クラブの現状をご報告いたします。例会の中では、ガバナーアドレスをいただきます。この中で、ガバナーの今年度の方針等を直接お聞きすることが出来ると思います。また、例会終了後は、別室にて、ガバナー公式訪問クラブ協議会を開催いたします。クラブの現状を踏まえて、ガバナーの方針のもと、各委員会の活動について、直接ご指導をいただけるいい機会となりますので、長時間にわたりますが、関係各位におかれましては、御協力のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

また、今週は、5日(水)には、今年度の地区大会の決起大会が行われる予定です。熊本市域のRCの力を結集して、地区大会を盛り上げたいとのガバナーのご意向と察知いたしております。内容につきましては、またご報告いたします。以上、会長報告を終わります。

出席報告 (園田修司君)

会員数	出席数	出席率	前々回(9/12) 修正出席率
60名	41名	71.93%	87.50%
出席規定適用免除者 9名		欠席記録免除者 0名	
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

10/17(月)は修正出席率100%を目指します。ご協力をよろしくお願ひします。

幹事報告 (野口泰則君)

1. 本田光曠ガバナー、小野友道 地区専任卓話者集団実行委員長より、卓話ネットワークプログラム「2720地区ロータリー専任卓話者集団」への協力要請。
2. 穴見陽一 地区会員増強維持部門会員増強委員長より、2011年7月23日 会員増強セミナー 映像DVD送付。
3. ヒロ・デザイン専門学校より 高校生ファッション画コンテスト ご後援およびご出席のお礼(冊子が届いております)

例会変更のお知らせ

- 東南 RC~職場訪問例会のため時間・場所変更
- [変更前] 10月19日(水) 12:30~
- [変更後] 10月19日(水) 12:00~
- [会 場] 株式会社ホンダソルテック

○菊南 RC～ガバナー公式訪問のため時間変更

[変更前] 10月26日(水)12:30～

[変更後] 10月26日(水)18:00～

[会 場] 菊南温泉ユウベルホテル

臨時理事会報告 10/3

- ① ローターアクトクラブ年次大会の熊本南ローターアクトクラブのコ・ホストクラブ承認について
→ 承認。特に特別支出などは発生せず、全員登録で応援する

委員会報告

●親睦活動委員会 (井上雅文君)

会員誕生祝・結婚祝

[誕生祝]		[結婚祝]	
石田隆造 君	10.03	丸田秀一 君	10.05
野口泰則 君	10.05	吉原コウイチ 君	10.10
藤木正幸 君	10.08	大住正敏 君	10.25
鈴木勝志 君	10.12		
元田亮一 君	10.14		



スマイルボックス(元田亮一君)

- 堀川貴史君・野口泰則君・野田三郎君
杉田会員、本日は卓話をよろしく願います。楽しみにしています。
- 田川憲生君
杉田先輩の卓話、ご教授をありがたくお聞きすることにしていましたが・・・所要で13時に退席せざるを得なくなりました個人的に教えをいただければ幸いです。

○元田亮一君

本日の杉田会員の卓話を大変楽しみにしています。杉田さんはかつて私の所属する会社の総代としてお力を貸して頂きました。今後ともよろしく願い致します。

○寿崎肇様

杉田会員の職業奉仕の卓話に感謝致します。小田パストガバナーのお話が土台になっているようです。往年職業奉仕のベテラン・ロータリークラブとして熊本南 RC は全国に名を馳せたものでした。楽しみにしてお伺いいたします。

○永井富士雄君

先週の観月会での歓迎会、お世話になりました。心より感謝申し上げます。

○喜讀宣友君

先日の観月会&。新入会員歓迎会お疲れさまでした。おかげ様をもちまして無事に終わることが出来ました。次回、年末の家族会に向けて準備をしているところです。良かった点、悪かった点、忌憚ない意見をお願いします。それと本日の杉田会員の卓話、楽しみにしております。

○園田修司君

今日は所用のため早退しますのでお詫びのスマイルです。

☆誕生祝スマイル

石田隆造会員・野口泰則会員・元田亮一会員

☆結婚記念祝スマイル

丸田秀一会員・吉原コウイチ会員・大住正敏会員

本日の合計	39,000 円
今年度の累計	435,690 円

●会員卓話



杉田辰彦 会員

「職業奉仕月間にあたって」

ロータリーの誕生

20世紀初頭のシカゴの街は著しい社会経済の発展の陰で商業道德の欠如が目につくようになっていた。ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に耐え兼ね、友人3人石炭商シルベスター・シール、鉱山技師ガスターバス・ローア、洋服商ハイラム・ショーレーと語らってお互いに信頼できる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたいという趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集會を各事務所を持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。1905年2月23日シカゴにロータリークラブが誕生しました。

金儲けのためなら手段を選ばないという、職業倫理の低下、信頼関係の欠如、悪徳と腐敗の街シカゴという背景の中から親睦を目的として発展したロータリーは、会員同士の相互扶助による事業の発展を経て、自らの事業を健全に運営すると共に、社会的に奉仕する組織に進化しました。そして、最終的に職業奉仕と社会奉仕の二つの奉仕理念を確立したのです。

職業は利益を得るための手段ではなく、その職業を通じて社会に奉仕するために存在するものである。

四つのテストの制定

1929年から始まった世界恐慌の時期にロータリアンが成し遂げた大きな業績の一つに「四つのテスト」制定があります。

1931年シカゴ・ロータリークラブ会員であったハーバート・テラーは不況のあおりを莫大な借金を抱え倒産危機にあったアルミニウム会社の経営を引き受けることとなった。もしも、会社の再建に失敗すれば250名の従業員が仕事を失うこととなる。彼はこの状況から脱して会社を再建するためには道徳的、倫理的な指標がどうしても必要だと考え「四つのテスト」を編み出し、経営上の指標としました。その結果、会社を取り巻くディラーや顧客、従業員から信頼と好意の雰囲気生まれ会社の業績を好転させた。

RIが1943年「四つのテスト」を採用し、今日にいたっております。

四つのテスト

- 1 真実かどうか
「嘘偽りがないか」ということで、商取引において商品の品質、納期、契約条件などに嘘偽りがないかどうか非常に大切な基準である。
- 2 みんなに公平(公正)か
fair は「公正」と訳すべきではとされている。公平とは平等分配を意味する。すべての取引(先)に対して公平(公正)かどうかということの意味している。
- 3 好意と友情を深めるか
商売上の信用とか評判を表すと共に取引を表し、商取引で店の信用を高めると同時ににより人間関係を築き上げて取引先を増やすかどうかを問うものである。
- 4 みんなのためになるかどうか
儲けそのものを表す言葉である。商取引において適正な利潤を追求することは当然である。すべての取引先が適正な利潤を得るかどうか問題である。

ロータリアンの綱領(職業奉仕に関する)

第2 事業及び専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること。

「業務に品位」

それに従事する人がその能力と技術を自分自身の利益よりむしろ他人の奉仕に捧げるということから生じる所謂品格または気品のことである。品位とは品格、気品、道徳的価値の所有者たる人格のもつ無条件的価値の特質である。

第3 ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。

「奉仕の理想」

己れに天職という使命を与えてくれた社会、また己の職業を生き続けさせてもらっている社会に感謝するとき、その仕方(奉仕)の基本として個人生活、社会生活、職業生活に於いて利己的欲求は最小限にとどめ、常に最大利他の究極を求め続けて行こうとするロータリアンの奉仕の哲学である。

職業奉仕とは

奉仕の心で職業を行い、その職業で社会に貢献することであり、奉仕こそ我が務めである。職業は奉仕の機会(チャンス)であり、職業奉仕はロータリアンの核心であり、ロータリアンの本質的な理念であります。ロータリアンは実業人および専門職業人より構成されている。この職業奉仕の意義があります。

小野PGメモ 職業と道徳

ロータリアンの綱領第2項に「実業および専門職業の道徳的水準を高めること」とある。「職業奉仕」の勉強をするにあたってはあらかじめ「道徳」について理解すなわちそれに関する思索の同意がなければならぬ。道徳は人間として当然ふみ行うべき道である。いかに特殊な技能知識に優れていても、それを悪用することになれば自らは勿論社会をも不幸に落とし入れることになるからである。

その職業に品位をあらしめること

「ロータリアン各自は職業を通じて社会に奉仕しなければならない。その場合、「その職業を品位あらしめること」とロータリアンの綱領に書いてあります。職業の品位とは、それに従事する人がその能力と技術を自分自身の利益よりむしろ他人への奉仕に捧げるという所謂品格または気品のことである。

奉仕の理想

己の天職という使命を与えてくれた社会、また己の職業を生き続けさせてもらっている社会に感謝するとき、その仕方(奉仕)の基本として、個人生活、社会生活、職業生活に於いて利己的欲求最小限にとどめ、常に最大利他の追及を求め続けていこうとするロータリアンの哲学である。

超我の奉仕

自分のために利益を得ようとする欲望と他人に対して奉仕しようという義務感とそれに伴って起こる心の争いを和解させようとする。ロータリアンの根本的な理想を効果的に表現しているものである。

職業奉仕

職業奉仕とは、奉仕の心で職業を行い、その職業で社会に貢献することである。奉仕こそ我が務めである。職業は奉仕の機会であり、職業はロータリアンの核心であり、ロータリアンの本質をなす理念です。

【RAC・IACの例会日程について】

○熊本南ローターアクトクラブ例会(第1・3木曜日)

日時:10月20日(木)19:30~

場所:未定

内容:未定

○熊本国府高校インターアクトクラブ例会(第1・3水曜日)

日時:10月19日(水)16:00~

場所:国府高校「大会議室」

内容:未定

ただし、学校の都合上(他団体が施設を使用する場合や生徒の課外、職員の会議等)、急遽変更される場合もあります。

ご出席の場合は、メーキャップに充当することが可能です

【例会予定】

10月24日(月)	米山奨学生卓話 グエン フク ホン君(ベトナム)
10月31日(月)	新入会員卓話 工藤青史会員
11月7日(月)	例会通算2,500回 記念例会
11月14日(月)	会員卓話 国際奉仕委員長 今村浩昭会員

国際ロータリーホームページより <http://www.rotary.org/>

2011年10月5日

「聞いたことはあるが、何をする団体か知らない」がロータリーの課題

職場の同僚や友人は、あなたがロータリアンであることを知っていますか。地元地域や海外でのロータリーの活動について、友人や知人に伝えていますか。

2010年に専門調査会社が6カ国(日本を含む)で実施したロータリーの公共イメージ調査では、2006年の調査と同様、回答者の多くが「ロータリーという名を聞いたことはあるが、何をする団体なのかを知らない」と答えました。また、ロータリアンの知人がいる人ほど、ロータリーについてよく知っており、奉仕活動を行う団体として好印象を抱いている、ということもこの調査で明らかになりました。

ロータリー公共イメージ・コーディネーターを務めるポーリン・ランさんは、次のように話します。「団体の活動内容を広く周知させるのは、簡単なことではありません。ロータリーの活動は範囲が非常に広いため、一般の人々の混乱を招いているとも考えられます。ですから、ロータリーの広報では、一貫したメッセージを伝えることが大切です。そのためには、団体としての立場、ビジョン、価値観、重点分野を的確に伝えられるようにするための研修を会員に対して行う必要があるでしょう」

○認知度は高いが、認識は低い

調査が実施された6カ国中、ロータリーの認知度が最も高かったのはオーストラリア(95%)で、最も低かったのはドイツ

(34%)でした。しかし、認知度が高くても、必ずしもロータリーの活動が知られているわけではありません。「ロータリーという名を聞いたことがある」と答えたオーストラリアの回答者のうち、ロータリーが何をする団体なのかを知っていたのは、わずか35%。80%の回答者が「聞いたことがある」と答えた南アフリカでも、ロータリーの活動について知っていたのは、わずか23%でした。こうした結果から、公共イメージの向上においては、単に認知度を上げるだけでは十分ではないことが分かります。

年齢、性別、年収といった属性も、認知度や認識の違いに関係があります。例えば日本では、40歳以上の回答者の67%がロータリーについて「聞いたことがある」と答えていますが、40歳未満はこの数字がわずか38%です。アルゼンチンでは、高年収層の63%がロータリーについて「聞いたことがある」と答えた一方、低所得層はわずか20%でした。このことから、今回の調査報告書は、若い職業人にロータリーをもっとよく理解してもらう必要があると結論づけています。

○男性中心という認識、参加と入会への関心の薄さ

その他にも、調査報告書は、ロータリーが男性中心の団体であるという認識が未だに強いことを指摘しています。このことは、クラブが積極的に女性入会の機会について伝えていくことの重要性を物語っています。ロータリー・クラブの活動へのボランティアでの参加と寄付への関心は、国によって異なります。この関心は南アフリカで最も高く(49%)、日本で最も低い(10%)という結果が出ています。ロータリー・クラブ入会への関心は、全体的に低いことが分かりました。調査が実施された6カ国で、入会する可能性があると感じたのは、わずか16%でした(59%が「入会しないと思う」と回答)。

○フォーカスグループでも同様の結果

2008～2010年に実施された40回のフォーカスグループ(座談会調査)でも、同様の結果が出ています。この調査は、一般の人々を対象に、会員が減少している地域で行われました(フォーカスグループの結果は、「会員増強詳細報告」または報告書をダウンロードしてご覧いただけます)。

「ロータリー・クラブは自立して運営されており、奉仕活動はクラブが独自に決めて行っています。このことが、ロータリーへの複雑な印象の一因となっているのかもしれない」とランさん。「この調査結果は、一貫したメッセージの重要性を物語っています」